

<真剣味>②②

2015.3.4

始まったグラウンドでの練習

啓蟄の時期を待たずしてグラウンドで動ける有難さを噛みしめ、今年の新潟江南シニアのグラウンド練習がスタートしました。基本的には誰もが出せる「元気」と自ら率先できる「行動力」をもってグラウンドで暴れ回ってもらいたい。

21日（土）の午後から2015年のグラウンド（こあがの公園）練習が始まった。冬期間はビニールハウスを中心に基礎トレ・基本練習の繰り返しを地道に行っていました。その日は天気にも恵まれやっと外でできる喜びを噛みしめ、選手は全身で喜びを表現するように軽快な動きを見せてくれました。

いつものウォーミング・アップから始まり、キャッチボール、ペッパーと順調に進み、頑張りすぎて怪我だけが心配になりました。でも大きな怪我はなかったものの、ノックの時に2人ほど足がつるというアクシデントはありましたが、選手達は有意義な時間を過ごしたようです。青空の下で野球ができる「喜び」を持ちつつ、16名（3/4現在）の選手は目標達成に向け、日々努力してもらいたい。

ラグビー選手のスピードとパワーのすごさ

たまたま私が新津の中学校で体育教師をしている時代に野球部員だった生徒が、現在ラグビートップリーグのチームで活躍していることを知り、ラグビーのテレビ中継を観るようになりました。あのごつい体でぶつかり合う迫力・そしてスピードあるプレーにはさすが一流を感じる事ができました。私が体育をうけもった彼はゼッケンナンバー1、赤いシューズ（現在はイエローかも）で髪を乱しながらスクラムそしてタックルをしている場面がよく映されます。彼がトップリーグの一流の場面でプレーしていることの素晴らしさ。これを観るだけで私としては、とても「良い刺激」を頂き、もっともっと頑張らねばという欲が出てきました。彼の活躍を願っています。

本人の気持ちと親のプッシュ

我がチームにも何度か体験入部に来てくれる小学生がいます。入部してくれる児童は未だ3名だけです。その小学生を見ていると、重いバットやボールに負けることなく本当に硬式野球に慣れようと頑張っています。きちっとトレーニングを重ねて行けば、大きな故障もなくやっていけるはずです。あの打てた時の打球音や鋭さ、最高に気持ちいいものです。子供が自分一人で選択することは難しいものです。本人がやりたい気持ちがあれば、お家の方がスーッと「背中を押して」頂けると有難いです。是非新潟江南シニアと一緒に野球をやりませんか。3名から4名へ、そしていつか10名へと。少しずつですが増えていけばと思っています。よろしくお願い致します。